



社会福祉法人
真宗協会

新春号

発行／社会福祉法人 真宗協会
広報編集委員会

博 愛

すべての人を平等に愛すること

迎春



新年のご挨拶

社会福祉法人真宗協会
理事長 川上 直平

年頭にあたり謹んで新年のご挨拶を申し上げます。
平成十七年のさわやかな新春を迎え、皆様に穏やかにお過ごしのこととお慶び申し上げます。

平成十六年は、我が国の福祉事業の大きな変革をもたらす話題の多い年でありました。特に三位一体改革に係る国庫補助負担金改革案を巡る動向、又介護保険施行後、初の本格的を見直しの論議が始まったことなど、福祉関係者は大きな関心を持って、その推移を見守った年でありました。

この様な社会情勢の中、真宗協会は地域福祉の推進に大きな成果をあげることができました。このことは、社会福祉法人真宗協会二百五十余名の職員の皆さんが心ひとつに日々業務に心配りをいただいた賜物であります。

新しい年、平成十七年は法人理事・監事・評議員各位のご指導をいただき、念願であります「福祉村構想」の実現に向け推進してまいりたいと考えております。最後になりましたが、関係各位の変わらぬご指導・ご鞭撻をお願い申し上げますと共に、利用者、ご家族、職員の皆様にとりましてより良い年となりますよう心よりご祈念申し上げます。

法人ニュース かわら版

危機管理対策

真宗協会としての取り組み

社会福祉法人真宗協会は、災害に対する危機管理体制が組織化されています。

去る十月二十三日の新潟県中越地震の発生を教訓に、更に防災に対する強化を図りました。

それぞれの施設機能に即した対策を各施設で協議いたしました。特に防災に対する備蓄用品として懐中電灯、毛布、ラジオなどの確保。



また、ライフライン（電気、水道、ガス他）が寸断され、救援物資も求められない場合などに対応するため、食料や飲料水など、最低三日分の非常食を各施設で備蓄しています。



研修団を結成し参加

初めての取り組み

平成十六年度社会福祉施設経営者協議会東北・北海道ブロックセミナーが十月二十八、二十九日の日程で札幌市にて開催されました。当法人からは、齋藤専務理事が団長を務め各施設からの幹部職員九名による研修団を結成し参加しました。

法人として研修団による研修参加は初めての取り組みで、今回は①法人幹部職員の専門的知識の向上、②幹部職員の交流、③齋藤専務理事との意見交換を主たる目的に実施されました。

セミナーでは、政治や社会福祉の動向、法人及び施設経営について幅広く学ぶことができました。

参加者からは、「社会状況及び施設経営の厳しさを認識しました」「法人幹部職員として責任の重さを痛感しました」「職員間の交流が深まり、有意義な研修でした」等々の感想が聞かれました。

解団式において、齋藤団長から「参加職員の熱意ある発言を心強く感じました。今後も管理職養成を計画的に取り組んでいきたい」とコメントをいただきました。



法人委員会活動紹介

ホームページ委員会



当委員会は、インターネット上へ真宗協会のホームページを新設し法人の情報公開に努めています。真宗協会職員一人一人の情報機器操作能力を高め、ネットワークシステムの構築を目指し活動してまいりました。現在、法人の日常業務は、施設が点在している為、職員の横断的な連携・交流を図ることが難しい状況にありますが、インターネットを利用することにより、時間や経費に制約を受けることなく連携を図り、より良いサービスを提供することが出来るようになると思います。

今後も情報化社会の求める開かれた法人を目指し、より多くの人に真宗協会のホームページにアクセスしていただきたいと考えておりますので宜しくお願い致します。

（真宗協会ホームページのアドレスは <http://www.shinsyukyoukai.jp/> です。）

こちら情報局



もちつき 【帯広慈光学園】



十二月十日、帯広慈光学園では毎年恒例になっております年末行事の「餅つき」を行いました。味見の切り餅、昼食には、お雑煮、おやつのぜんざいなど利用者皆さんで楽しくお餅をいただきました。利用者も職員も杵を持つ手に自然と力がこもります。つきあげた四臼、十二キログラムのお餅は一日で利用者皆さんのお腹に納まり、新年の活力源になったことでしょうか。



居酒屋

【帯広至心寮】

去る、十一月十七日、十九日の二日間にわたり、帯広至心寮の行事として、居酒屋「大門」が新装オープンしました。昨年引き続きの行事とあって、利用者の方々も大変楽しみにしており、「いらっしやいませ!!」のかけ声で、開店と同時に注文が殺到し厨房も大忙しでした。

料理でテーブルの上が一杯になると、利用者の方々の会話も次第に盛り上がり「おいしいね!」と、皆さんの嬉しそうな声が聞こえてきました。料理の種類はなんと二十八品もあり、選ぶのに迷ってしまうほどで、一般の居酒屋にも負けず劣らずの品揃えとなりました。

居酒屋「大門」は、人情味溢れるくつろぎの場として、利用者の皆さんにはとても好評で、三ツ星をいただきました。また、来年もこの季節に開店営業する予定となっており、利用者の方々には楽しみにしています。

ちなみに「居酒屋・大門」は帯広至心寮施設長の名前をいただきました。

アジヤタ大会

熱い戦いの結果

【帯広はちす園】



帯広はちす園 伊藤雅也さんの選手宣誓



優勝した 帯広はちす園チーム

十二月十一日、帯広の森体育館で十勝知的障がい施設協議会主催第一回アジヤタ（玉入れ）大会が行われました。管内より十五施設十六チーム、総勢百四十一名参加のもと熱戦が繰り広げられました。競技内容は、運動会の玉入れと同じ競技で百個の玉をボールネットに早く入れるというものであり、また大会の知名度は浅い競技です。

今回、帯広はちす園が主管施設として大会を無事運営することができました。競技結果として、帯広はちす園が優勝、帯広やわらぎ園が準優勝に輝きました。この日、各施設の方々が大会を通して交流を図ることができました。





西年生まれの方々に
スポットをあててみました。

帯広やわらぎ園 平澤 健一さん
昭和56年生まれ 24歳



将来クリーニング
屋さんで働く!という
夢に向かってがんば
ります。

帯広信楽苑 寺崎 利雄さん
昭和8年生まれ 72歳



今年も健康に注意
して日課の散歩や友
人とのパークゴルフを
楽しみたいです。

帯広慈光学園 中橋 直幸さん
昭和44年生まれ 36歳



「大好きなプロレス
を見に行きたいなあ〜」
中橋徳幸さんとは双
子の兄弟です。

帯広慈光学園 中橋 徳幸さん
昭和44年生まれ 36歳



「学園の友達とこ
れからも仲良く過ご
したい」プロレスの本も
欲しいそうです。さ
すが双子の兄弟。

帯広光南病院 荒木 誠治さん
昭和8年生まれ 72歳



好きなことはいっ
ぱいやったので、もう
やることはない。
のんびりと過ごします。

帯広はちす園 遠藤奈緒美さん
昭和44年生まれ 36歳



はちす園のみんな
と仲良くして今年
は、楽しく過ご
したい。いろ
んな所に行
てみたいと思
います。

帯広はちす園 河尻 早美さん
昭和32年生まれ 48歳



お花が大好きな
私は、今年も花
づくりの仕
事を頑張り
たいと思
います。

帯広至心寮 林 勲さん
昭和8年生まれ 72歳



今年こそは宝く
じを当てたい。
お酒を飲
んで長生
きたい。

帯広光南病院 小山アサノさん
大正10年生まれ 84歳



戦争中のことを
時折思い出
します。今
年も平
穏に毎
日を過
ごしたい
です。

帯広はちす園 千葉 光雄さん
昭和56年生まれ 24歳



帯広はちす園に
勤務して6
年目突
入。誰
だっ
た自分
も成長
して大
きく羽
ばたけ
る様に
今年も
頑張り
ます。

帯広マイトリー 西明 崇峰さん
昭和56年生まれ 24歳



一生懸命働
いて、大
好きな
ブランド
のネク
タイを
購入し
たり、
居酒
屋など
にも行
きたい
と思っ
ていま
す。

帯広信楽苑 原田 ときさん
明治42年生まれ 96歳



ホーム行事の1泊
旅行が楽し
みなので、
今年も旅
行に行け
るよう健
康に気を
つけて暮
らしたい
と思っ
ます。

帯広やわらぎ園 金野 久さん
昭和56年生まれ 24歳



できるだけ
たくさん登
園して、
みんなと
楽しく過
ごしたい
です。

帯広至心寮 加賀 英男さん
大正10年生まれ 84歳



西年、元
気にが
んば
るぞー、
オー!!。

帯広やわらぎ園 漆谷 貴洋さん
昭和56年生まれ 24歳



少し太り
ぎみな
ので、
色々
な活
動に
参
加し
て体
重を
減ら
し
たい
です。

帯広慈光学園 松本 千鶴さん
昭和56年生まれ 24歳



今年も元
気に
楽し
く生
活で
きる
よう
が
ん
ば
り
ま
す。

帯広信楽苑 真壁 俊勝さん
昭和8年生まれ 72歳



1年の
んびり
生き
てい
けば
良い
と思
いま
すが、
今ま
で以
上
に
陶芸
・籐
工芸
・書
道ク
ラブ
で新
しい
作
品作
りに
頑
張
り
ま
すし、
今
年
は
新
し
く
絵
に
も
挑
戦
し
たい
です。

帯広マイトリー(グループホームみずき)
菅田幸泰さん
「大物ニジマスをゲット大満足!」



「編み物をする
藤田菊子さん」



帯広信楽苑
藤田菊子さん
編み物
「テーブルクロス」「帽子」

作品紹介
あーとぎやらりー
ART GALLERY

「サルかのにの輪、信楽苑の和」
帯広信楽苑 貼り絵



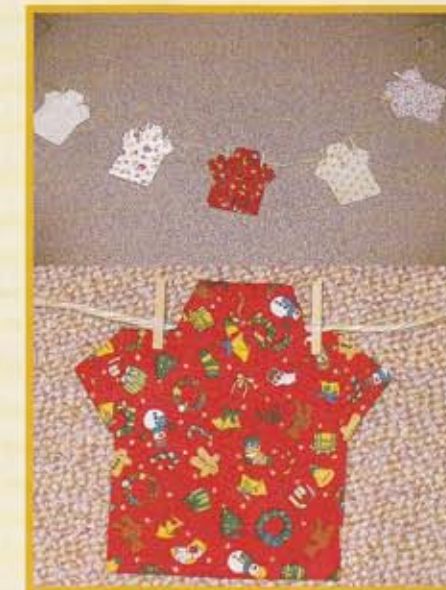
「サルかのにの輪、信楽苑の和」

帯広やわらぎ園 紙粘土



石井正弘さん
「お面」

中井大介さん
「鬼の飾り物」



帯広慈光学園
柏摩奈美さん
「ミニポロシャツかべかざり」



帯広信楽苑
吉岡キクエさん
折り鶴で作った作品「童女」

みんなの輪

第四十二回 全国知的障がい関係施設職員研究大会 福岡大会

勤続二十年表彰

帯広慈光学園 中川課長



今回勤続二十年ということで日本知的障がい者福祉協会より表彰されました。

昭和五十八年二月より帯広慈光学園に勤務して今日に至りました。障がい者福祉の世界に情熱を持って飛び込んだ事を思い出します。帯広慈光学園で共に働いた諸先輩、仲間そして真宗協会の皆様に支えられ、今日まで勤務できたことを感謝しております。これからもこの二十年で学んできた事、経験した事を無駄にすることなく精進して行きたいと考えております。よろしくお願い致します。

福岡こぼれ話

帯広はちす園 岩上係長



今回の大会で、見識を広げることとは勿論だが、もう一つ真宗協会野球部マネージャーとして福岡ドーム野球観戦も大切な「裏」テーマ。勇んで出発したものの、移動は台風にみまわれ、羽田空港で六時間の足止め。しかし、空港で出合った某株式会社社長と話が弾み、福岡ドームの野球観戦チケット三枚をゲット。夢のような話の主人公になった私、更に城島選手の見事なホームランのプレゼント付き。楽しかったらう。

かんたんクッキング

「タチのみみじおろし」

【材料】

タチ(タラの白子) 200g	大根 10cm
アサツキ 4本	赤唐辛子 1~2本
	醤油 1/2カップ
	酢 1/2カップ
	酒 適量



- ① タチを塩水できれいに洗い、適当な大きさに切ってさっと熱湯にくぐらせ、すぐに冷水にとる。
- ② 大根に赤唐辛子をさしこんですりおろし、水気をさっと絞る。
- ③ アサツキは小口に切る。
- ④ 醤油、酢、酒を合わせ器に注ぎ、中央に水気を切ったタチをおき、上にもみじおろしとアサツキをのせる。

帯広マイトリ 辺見 梢



帯広光南病院 院内研修



九月八日、慶愛病院会長 真井徳幸氏を講師に迎えた院内研修「更年期について」が帯広光南病院会議室で開かれました。更年期特有の肉体的・精神的変化、社会環境・家庭環境の変化、そのような大きな変化の時期を豊かに過ごすための方策についてなど、内容の濃い講演でした。法人各施設から研修に参加した平均年齢高め(?)の四十六名は、我が身と重ね合わせ真剣に学習していました。真井氏の「更年期は人生そのものである」との含蓄ある言葉に身も心も励まされ研修を終えました。

真宗協会 今後の予定

- 1月 法人仕事始めの式(1月4日)
- 2月 平成十六年度第5回法人監事監査
- 3月 平成十六年度第4回評議員会
- 4月 平成十六年度第5回理事会
- 5月 平成十七年度辞令交付式
- 6月 平成十七年度第1回評議員会
平成十七年度第1回理事会
平成十七年度第1回法人監事監査
富士道公認会計士事務所長決算監査
法人創立者故菊地達男氏命日法要
- 7月 知的障がい者施設合同体育祭
孫と緒の運動会(青葉保育所豊成保育所合同)
法人創立記念日(7月1日)
法人広報誌「博愛」5号発行

編集後記

早いもので第四号の発行を迎えました。今回の真宗協会広報誌「博愛」はいかがでしたでしょうか。各施設より、新聞記者きどりの委員が集まり、自信を持って編集いたしました。ご一読下さい。また、皆様のご意見・ご感想をお待ちしております。

社会福祉法人 真宗協会

帯広市西五条南三丁目十番地

TEL 〇一五五(二四)五五六一